

半切四分の一に書くⅡ (14)

締切り(二月二十二日(必着)

神 谷 葵 水 先 生 書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置され 約八年間は、半切への足がかりとして半切四 分の一のサイズ(約六八㎝×十七、五㎝)で条 たのは、平成十一年七月のことで、その前の 幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・ 神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改め 一年間学びましたので、今回はパートⅡにな て条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れし りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。 ている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作

春雲長似帯(広瀬青邨の詩句)しゅんうんながくしておびににたり ひるせ せいそん

【大意】 春の雲は細く長いので帯のようである。

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大 切です。行の中心、字間、天地のあき等に注 る等の方法もあります。 意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用す

お手本をよくみると、各字に大小の違いがあ になります。 う。その方が動きやリズムが出て表現が豊か ることがわかります。潤渇も考えてみましょ

できる方は、書体や崩し方を変換してオリジ でしっかり調べることが肝要です。 ナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に 墨で書いて下さい。 収めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱

(作品の出し方)

▼毛筆部 = 条幅半切四分の一(約六八㎝× 十七、五㎝)に書いて下さい。

▼硬筆部=B5版(二五七㎜×一八二㎜)以下の せん。(フェルトペン・筆ペン可) 用具は自由ですが、細い線は相応しくありま 紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。

出品制限の対象とはしませんが、 毛のどちらか一方に限ります。 出品は硬・

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛 筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績) を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲 載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

[解 説)









同字少し変化を

む村 のぶ暢 奥 書 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

歩するということです。

何事も、

失敗を恐れず諦めないでや

て努力し続けることが大切でしょう。 ます。まず目標を持ち、それに向かっ

、続ければ、必ず何らかの成果が表れ

▼3月課題予告 (行書

教えるとは希望を

語る事

学ぶとは

真実を胸に刻む事

ざる者は、 ★進まざる…(書体=行草または草書) 進まざる者は、現状維持に甘んじ 結局は衰退することになり、退か 明治の啓蒙思想家 福沢諭吉(一八三五~一九〇一) 挑み続けさえすれば必ず進

関係がない 年齢には 人生の疲労は ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会級位用紙

ある日聞いた立川談志の噺は「コ講談、落語、浪曲と聞きまくりました。 ギャルからじいさんまで」皆を打ちの ★何の…(書体=行書) 噺に限らず、 すかのようで、 今人気の松之丞は「客」の時代が長く、 秀でた芸は不可解なま 驚嘆したそうです。

じょう城

せい清

大

でに人の胸を鷲づかみにします。

*3月課題予告

▶教範・書範は右課題を 「行書」 で、 師範は 「楷書」 で出書して下さい。

◎草書は日常なじみがないことで、 界が広く、深くなります。地道に丁寧に学んでいきましょう。 むずかしいと敬遠されがちですが、草書を覚えると一気に書の世

◎なお、しんにょうは四通りに書き分けました。 ◎早く覚えるためには、 諭 のごんべんは定形のくずし方ですから、 まず部首ごとに、共通のくずし方を覚えましょう。 変化を求める場合は、字典を大いに活用しましょう。 どの文字にでも同様に使用できます。 福 のしめすへん、

〔読み〕 進まざる者必ず退き 退かざる者必ず進む 福沢諭吉

▼教範・書範=楷書 •師範=行草または草書

準初段から六段まで

新入から1級まで

た 田 なか 中 ごう光 き貴 ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会段位用紙

 \coprod ▷用具=自由(黒色に限る) ▷用紙=本会級位用紙

ちたのだった。

[鑑賞] 年尾が、

大正八年から十三年

その中にきらっと光るものを見た。あ

遠くの家の氷柱が軒を離れて落

くものは何一つ見出すことはできない。

動

なか 中 ごう光 き貴

〔古筆参考〕

地の大景を把捉している。

まで小樽高商に在学したその時の作。

氷柱の落ちる光を通して、よく寒冷の

遠き家の氷柱落ちたる光かな郷への水柱落ちたる光かな

■両課題とも、

文字の変換・配字は自由です。

品としてよくなる。 きすすめると角が柔らかくなり仮名作 ペンへの力を少し抜き加減にして、 〔解説〕「 てつ」の縦線から横へ折れ曲がる時、

◆ 3 月課題予告

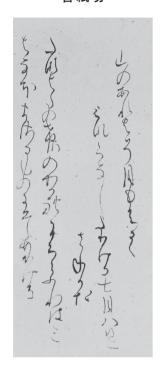
遠き家の氷柱落ちたる光かな登録すの機能は、遅多の水柱落ちたる光かな

勇気こそ地の塩なれや梅真白

遠き家の氷柱落ちたる光かな (高浜年尾)

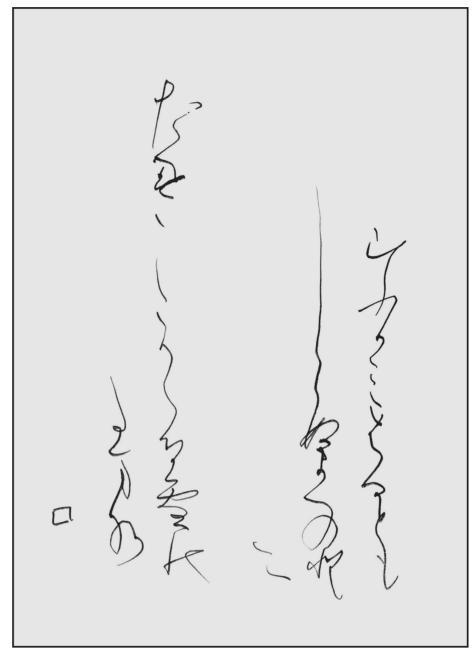
見わたす限りもの寂しい雪景 ものみな息をひそめている 日ざしはあるが、

〔古筆参考〕 こう し ぎれ **香紙切**



山 のあればぞ月もかくるゝ こなくなしたりける七月八日に那久奈多利

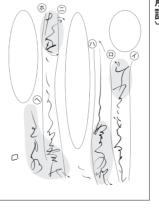
たなばたのけさの はなほまさるものにぞありける者な本佐の わかれにくらぶればみ可能が久 さね^年かった



築な 瀬せ

舟り 香さ 書

解説



・行のふくらみ大切。 (金と回) (S) €(E) (1)とま、 それぞれ

○ 余白が文字を生かしてくれる。

▼3月課題予告

✓ 指向性大切。 密の動き大切。

遠き山べに霞たなびく時はいま春になりぬとみ雪降る

たえだえかかる雪のたま水山ふかみ春ともしらぬ松ので 戸登

にニ

も気づかない侘住いの粗末な松の戸

[歌意] 深い山の中で、春になったと

きらきら輝いた玉のような雪解け水。 に、とぎれとぎれに落ちかかっている

[出典] 新古今和歌集

(新潮日本古典集成

文 のページ 実 用

締切り 2月22日(必着)

寒さに耐えて咲く花は周囲をパー 笑顔が思い浮かんできます。厳し 梅の花が満開になるとお母さんの と明るくします。私もお母さんの ようでありたいと思っています。

お誕生日おめでとうございます。

用具=はがき、横書き課題ともに自由 題は一般部段位用紙を横に使用。 用紙=はがき課題ははがき用紙、 す。成績は評価により毎月変わります。

両課題とも、書体変換は自由です。

新入から師範まで、どなたでも出書でき 作品の出し方

※手本は水性ボールペン使用

お遊生日おめてとうべんちます と明るくします。私もお母とし 多少人就多一家人私住图圈至八一 突到的里沿机下去去。 梅の花がは南になるとお母さんの すでありなし国でいまりま

横書き課題

ごう郷 ぉ尾 光 翠 書

ジャズは米国で生まれた音楽で 里人奴赫解放自己的几発達1亿 栃木県佐野市 Z 氏

※手本はつけペン使用。 ★三行目は**、指定の地名**と氏名を書いて下さい。

須す

田だ

<u>ー</u>ぃ 葉さ 書

奥な 村ら 暢ぶ 臨

準初段から師範まで

[出典] 集字聖教序(672) [筆者] 王羲之法書より集字

[読み] (斯の福遐かに) 敷き、乾坤と与に永く

〔読み〕 梅は 供 す一枕香

[大意] 梅の香りが枕元に漂ってくる。

準初段から師範まで ■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

[出典] 凡河内躬恒

まだみよし野の山は雪ふるいづことも春のひかりはわかなくに
のなりはわかなくに

[歌意] 春の光はあまねく、どことわけへだてすることではないのに、 吉野山にはまだ雪が降っている。

大空へ鳩らんまんと風車

浅さ 井ぃ 機き 山ざん 先 生 書

〔出典〕川端茅舎

[句意] 春の空に飛ぶ鳥は明るい感じがする。春風に吹かれながら手の 風車もくるくると回っている。快い感じが充ち溢れている句。

般部毛筆細字課題

ではきからそうなの

今みにま

般部毛筆条幅課題

締切り(二月二十二日(必着) 半 切(一三六m×三五m)

半紙 (3 3 4 mm × 2 4 0 mm)

分材 芳惠

く自愛の経出的

ば梅 と蘇藤 ごる香 伊 書

真っ赤な万両の実を小島たちが

思っています。

「啄みに来るようになりましたが真っ赤な万両の実を小鳥たちが この寒さは当分続きそうなので

印で墨つぎしました。

(ご自分の氏名)

ご自愛の程お祈り致します

〔条幅・細字作品の出し方〕

新入から師範まで、どなたでも出書できます。

成績(天位~5等)は、評価により毎月かわり

書体変換、変体仮名の交換は自由です。

(条幅解説)

典の中から見つけるよう心がける一年にしたいと 型に新しいかくし味を入れたい。そのかくし味を古 す。作品を人前に供する場合、その都度自分なりの 相撲と同じように自分なりの型を持つ事は強みで

楊柳湾頭金線長 ようりゅうわんとうきんせんながし 桃花里畔春風馥 茅應 奎

荻ぉ

田た

蒼き

仙せん

書

長い。 なる浦のほとりには黄 香り好く、柳の色の緑 金色に芽をふいた糸が のあたりには春の風が [大意] 桃の花咲く村

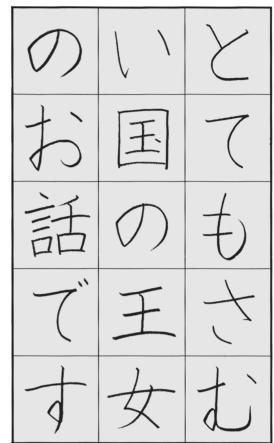
初出品の方へ

姓名·毛筆漢字成績 支部名•会員番号• を、作品左下に必ず お書き下さい。

- 7 **-**

★幼年は、 **◆ひらがなトレーニング**(なぞってかいてみよう) ょ う 全員8マス用紙で出書して下さい。年少・年中・年長の別を記入して下さい。 年 〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる) 3 2 小 年 (注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。 幼年~小三年まで 宅は 容さ いし 新入~1級 準初段以上 玉裳 書

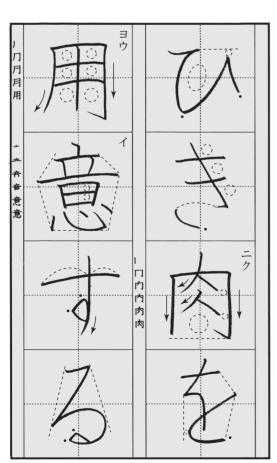
オウ 丁丰王 〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる) 人女女 はなし □ 同 用 国 国 国



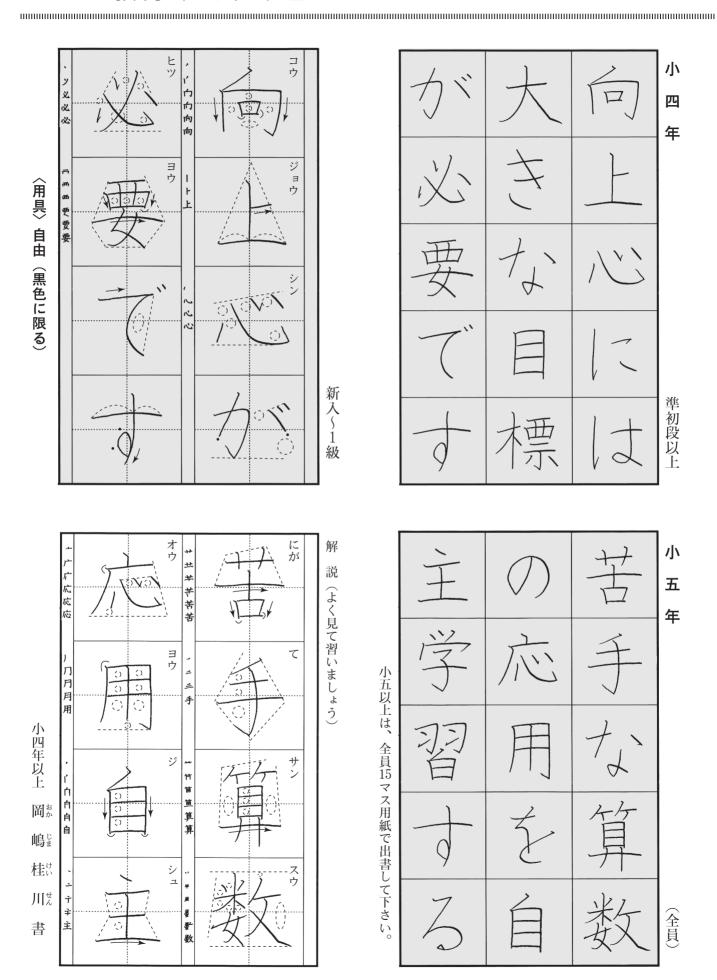
準初段以上

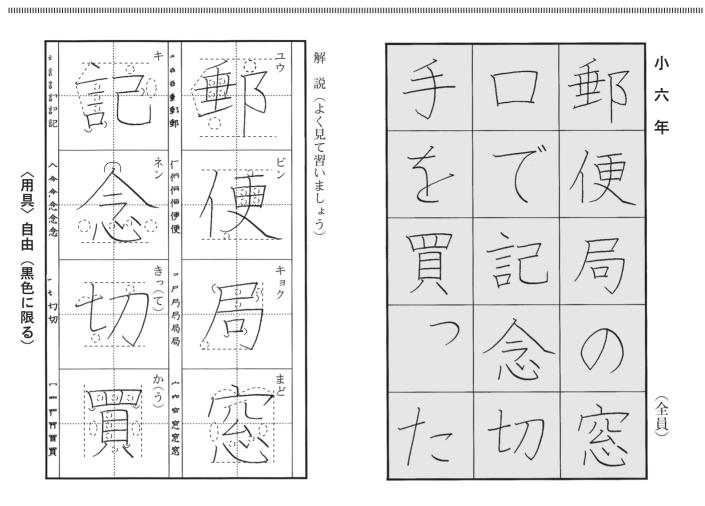
小

年



(12	使	l	小三年
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。	用		よ	_
言きでは、消し!	意	7	7	
コムを使っては	+	き	理	
いけません。	る	肉	1	準初段以上





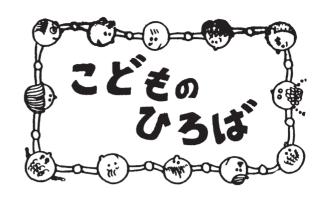
小 六 年 (全 員)

二・三年 (行書)

中 年 (行書)

▼小三年以下の課題 西地 清蓮 書





しめきり 2月22日(必着)

習っていない漢字は ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 早 川 林 花 書

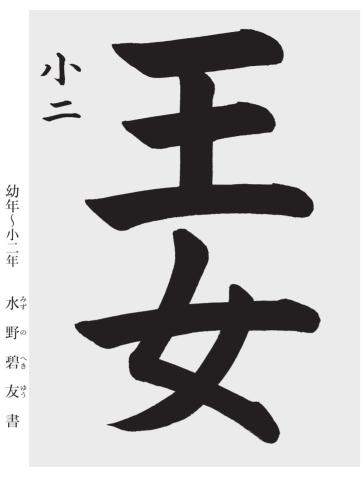
◇作品の出し方

- 選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- でない。作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて
- 筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- を適当に短くして下さい。四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章
- 支部会員は、出品ラベルを必ず貼って成績は評価により毎月変わります。

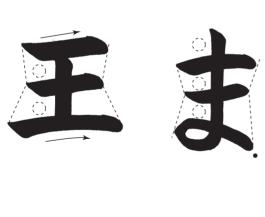
ていない方は新入とみなします。支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っ

◎お手本はえんぴつ使用

◎お手本はつけペン使用





















 $\mathbb{E}_{\mathfrak{s}}^{\scriptscriptstyle t}$ 樹き 小。 華か

書

小六〜中二三年水野の香竹、書





